



(夫婦岩・伊勢市二見町)

目次・主な内容

■ 会長新年挨拶	2	■ 経協事業活動	
■ 日本経団連御手洗会長年頭所感	3	● (写真でみる3ヶ月10~12月)	9
■ トップインタビュー	6	■ れんらく・つうしん	14
■ 海外労働経済事情視察報告		■ Window事務局	15
● (アメリカ東海岸・カナダ)	8	■ 業務日誌	16



新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 奥田 卓 廣

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、爽やかなお気持ちで新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと戦後60周年が経過し、本会も昭和21年7月の創立ですので満60周年を迎え、本年は61周年として新たな始まりに入っているところです。

創立当初は各地方経協と同様、労働問題、特に労働争議の解決に重要な使命を果たして参りましたが、その役割も時代と共に徐々に変わってきているところです。

本会も歴代会長の力強いリーダーシップのもと、会員ニーズに基づき事業範囲も拡大傾向に至ってはおりますが、特に昨年10月に惜しまれてご逝去されました藤井賢三前会長の温厚な人柄と、その度量の大きさには多くの方々が勇気づけられたことでした。

私も昨年6月、本会の会員総会におきまして会長に選任を頂いたところですが、前会長の「人材こそが企業発展の原点」のスピリットを継承しつつ、「経営と労働」「人材育成と雇用の創造」についてより積極的な取り組みを進め、地域産業経済の発展に最大限の努力を傾けて参りたいと思っております。

さて、景気の方も昨年は輸出と設備投資に支えられ、11月で戦後最長の「いざなぎ景気」(1965年11月から1970年7月、57ヶ月)を超えるに至っておりますが、その反面、当時の6%弱の成長から見れば今回の2.4%についてはその弱さを指摘する議論も目立っています。

政府は、「企業部門の好調さが家計に波及する経路がここに来て弱まりを見せてはいるが、景気の腰折れする懸念はきわめて小さい」と強気ともいえる見方をしておりますが、米国経済はバブルともいわれる住宅市場の好調さが終わり、変調の兆しも窺わせませす。これらの風向きが変わればアジア・我が国への悪影響もあり、また原油高は高止まりで一服の状態ですが、まだまだ目配りが欠かせなく先行きは決して楽観できないところであり、慎重にこれらの動向を見守るべきと言わざるを得ません。

また、これからは若者の雇用問題に加えて、団塊の世代と言われます多くの人達への対応、技術・技能の伝承や、元気で働く意欲のある高年齢者への雇用等、課題は山積している状態です。

「経営者は正しく、強く、そしてやさしい企業経営」を志し、新しい年の始めにあたり、心新たに皆さんと共に前進して参りたいと存じます。

末筆ながら、本年も一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、会員各社の益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

(社) 日本経済団体連合会

会長 御手洗 富士夫

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、日本経済は「いざなぎ景気」の景気拡張期間を超え、着実に景気回復が続いております。しかも少しずつではありますが、地方や中小企業にも景気回復の広がりが見えてまいりました。

これは、様々な分野における構造改革実現の成果であると考えます。しかしまだ道半ばであり、景気回復を確かなものにしていくためには、ここで安心して立ち止まるわけにはまいりません。持続力のある、安定的な景気の拡大を目指し、引き続き改革を推し進めていくことが求められます。

私は、日本経団連会長に就任の際に、日本を内外の人々にとって魅力あふれる「希望の国」とするため、全力を挙げて取り組みたいと申し上げました。

私の考える「希望の国」とは、「国民が豊かで幸せに暮らすことができる社会」、「すべての人に挑戦の機会が与えられ、可能性に富んだ社会」です。その実現のためには日本が成長する国であり続けることが欠かせません。そのためには、産業・経済・社会システムのイノベーションをより一層推進していく必要があります。本年はイノベーション加速の年にしたいと存じます。

特にいま大きな課題の一つは、地方の再生です。地方経済の発展がなければ、日本経済の発展、ひいては「希望の国」の実現には至りません。そのためには、道州制を導入して国主導の中央集権から脱皮し、地域が自主性を持ち、自らの創意工夫により、自らの地域を変えることのできる仕組みをつくることが重要です。

各地域の産業振興、労使関係の安定に貢献されてきた皆様方におかれましては、地方再生の問題を含め、今後も日本経団連とともに、諸課題の解決に取り組み、日本を「希望の国」にする担い手になっていただきたいと存じます。

皆様のご健勝を祈念し、年頭の挨拶といたします。





年頭のご挨拶

三重労働局

局長 田中 康雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から当局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして、労働局は設立後8年目を迎えます。

さて、県内の雇用失業情勢は、景気の回復を反映し、有効求人倍率は、平成17年後半以降1.4倍台の高率で推移しており、全国でもトップクラスとなっております。しかしながら、その内容に目を転じてみますと、北勢・中勢地域と南勢・東紀州地域の間において依然として地域間格差が生じております。

さらに、雇用の多様化に伴い業種ごとに格差が見られ、非正規社員化、間接雇用が進み、雇用情勢の実態は、数値と比べると依然として厳しい状況が続いています。

私ども労働局の業務は、働く人々が安全で安心して働くことができる環境を実現していくことですが、県内の労働基準監督署や総合労働相談コーナー等に寄せられます労働関係の相談件数は、ここ数年著しく増加しており、特に外国人労働者の相談が増加しています。

相談内容も、賃金・解雇にかかるもののほか、最近では、人事労務管理の個別化等、雇用形態の多様を反映して、雇い止め、いじめ、嫌がらせ、退職奨励等が増加しています。

その様な中で、寄せられた一件一件を丁寧な相談対応に努め、労働局への信頼を一層高めていかなければならないと考えています。

また、過重労働による健康障害から従業員を守るため、過労死の予防、メンタルヘルス対策の推進、労働時間管理の適正化等について総合的な対策を図るほか、労働災害防止の面では「労働安全衛生マネジメントシステム」などを活用して、労使双方によって自主的な労働安全衛生対策を図っていただくことが今後ますます重要になることから、制度の普及に努めるとともに、引き続きアスベストによる健康障害防止対策を推進することとしています。

雇用対策では、雇用のミスマッチ縮小のための就職支援、地域における良好な雇用機会の創出と確保、「若年者自立・挑戦プラン」による若者の雇用対策、改正高齢法に基づく高齢者の雇用対策、障害者の雇用対策の強化、外国人労働者の適正就労の推進、労働力需給調整事業（職業安定法、労働者派遣法）の適正な運営等を通じて安心して働ける雇用環境の整備に努めてまいります。

そして、本年4月から改正雇用機会均等法が施行されることから、あらゆる機会を捉えて周知啓発を行い、法の円滑な施行を図るとともに育児・介護休業法、次世代育成支援対策推進法を踏まえた職業生活と家庭生活の両立支援、パート労働者に関する総合的な対策等を推進し、男女がいきいきと働くことができるよう雇用環境の実現に努めてまいります。

何と申しましても、これらの労働問題は労使の皆様方のご支援とご協力があってこそ解決が図れるものであります。そのため、私どももオール労働局で職員一丸となって全力を投入してまいりたいと思っておりますので、なお一層のご理解をお願いいたします。

結びになりましたが本年が輝かしい繁栄の年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

三重県経営者協会

専務理事 平 松 敏

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の活動に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済は景気回復が本格的に拡大軌道に乗り、日銀短観によると、2006年度の売上高は4年連続の増収、経常利益は5年連続の増益が見込まれるなど、海外の旺盛な需要と国内の設備投資、雇用の拡大で今年も引き続き緩やかなペースで景気の拡大が続く見通しとなっています。

県内においても、好調な自動車、電子、機械などの製造業を中心に生産指数は引き続き高水準で推移し、順調な成長が続いています。反面、県南部・東紀州方面の回復は遅れており、また、中小企業や一部の業種でも遅れが目立つところがあり、この点の諸対策が急がれているところでもあります。

また、県内労働市場の状況は、有効求人倍率も平成17年7月以降より、1.4倍台で推移するなど好調な動きが続いておりますが、非正社員化・間接雇用が進展していることから、求人・求職のミスマッチは大きく依然として厳しさが残っています。

今年も経済のグローバル化、技術革新やIT化による競争の激化、そして、少子高齢化社会、労働力人口の減少に対応した多様な働き方の推進、若年労働者の格差問題など企業が取り組まなければならない問題が山積みしておりますが、当協会としては、会員企業の発展と地域の産業経済の発展のために、その役割と責任を果たすべく、諸事業の展開をして参る所存であります。

結びにあたりまして、当協会への一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、あわせて会員の皆様にとりまして、今年が幸多き年でありますようお願い申し上げます。



★トップ interview★



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。第6回目は経協副会長会社であります神鋼電機(株) 取締役伊勢製作所 製作所長 加藤一路さんにお話を伺うことができました。

もっと、人のそばに

～多様な技術融合で飛躍を～

神鋼電機(株)取締役
伊勢製作所 製作所長

加藤 一路さん

～本日は年度末をひかえ大変お忙しい所、時間を割いて頂きありがとうございます。早速ではございますがまず、はじめに、1917年創業以来、1949年(昭和24年)には株式会社神戸製鋼所より独立し神鋼電機(株)になられてから約57年経過されていますが、この間、重電機メーカーから電子精密カンパニーへと着実に事業拡大を成し遂げられておりますが、その発展過程で強く印象に残ることは、どんなことですか～

当社は創業以来、航空機用発電機、電磁クラッチ、電池式運搬車、自動切符発売機を生産して参り、この過程において培われた電子・精密・情報技術は独自のメインテクノロジーに至っております。そしてこれらの技術の融合により、最近では昇華(個体から液体になることなく、直接に気体になる)型デジタルフォトカラープリンタ、航空機用・宇宙ロケット用電装品、航空支援車両、自動車用電磁クラッチ、風力発電装置、レシプロモータ等へと堅調な広がりを見事に至っています。特にアミューズメントとして人気のプリクラ機には、当社の昇華型プリンタが多く使用され、最近では米国メーカーへのOEM(相手先のブランドによる供給)により、業務用としては世界のトップシェアを維持しています。これはデジタルカメラの普及により、常に世界最高速プリント(最新のプリンタで6×4インチサイズ:6.9sec)を維持できていることが大きな理由と考えています。また、一般にはあまり知られていませんが、H II-Aロケットの噴射ノズルの姿勢制御に使用されているサーボアクチュエータや空港で使用されている航空機の牽引、乗客の乗り降り、貨物の搬入・搬出を行う空港支援車両は国内トップシェアを確保しています。特に2003年に発表しました小形風力発電装置「そよ風くん」は発売以来約450台を日本全国に設置しており、日本の風況にあった新しいタイプの風力発電機として注目を浴び、発表時の最初の3日間では問合せが1200件の反響があり、10名増員でその対応しましたが、今後も大きな期待をしているところです。強く印象に残るのですが、現場で培われてきた各種技術の融合から新たな分野への研究開発には、私自身、開発担当の在籍も長く、直接担当の、「そよ風くん」や「昇華型デジタルフォトカラープリンタ」は今でも強い思いを持っています。

～会社の経営理念並びに工場におけます行動指針についてお聞かせください～

経済環境が変化しても安定収益を確保し、常に成長し続け全てのステークホルダー(企業の利害関係者)の皆様にご満足いただけることが大切です。つまり「一人前の企業グループ」と認められることを常に目指しています。具体的にはM&Aの積極的展開と海外市場、自動車産業、エコ産業への受注拡大を重点事業戦略と位置づけ、既存の電子制御、精密機構をコアとした電子精密技術に通信・ソフトウェアからなるインテリジェント技術の融合(テクノロジーミックス)を推進し電機メーカーの枠を超えた「電子精密企業体」をより確かなものにしていくことが私達の使命です。

製作所としては、神鋼電機生産方式のもとに、変化に対応出来る強い現場の体制づくり、原価低減・ムダの徹底した排除、お客様が要望する商品やサービスを創造していくこととしています。



昇華型デジタルフォトプリンタ「カラーベット」SP-300



高速昇華型
デジタルフォトプリンタ



ツインヘッド式
デジタルフォトプリンタ

～事業拡大につきまして、それを支える人材とその育成について、大切にされていることをお聞かせください～

当社も例外なく団塊世代を多く抱えておりますので多くの先輩方が持っているスキルをいかに継承していくかですが、技術職、技能職は各部門毎に必要なスキルマップを作り、不足しているスキルを明確化させ、その不足分を集合教育、OJTを継続的に行い、次世代を担う若い人材を育てる取り組みを実施しているところです。特に技能職は、親方、弟子（師弟）の関係をハッキリさせ、誰の持っているスキルを誰に継承していくかを明確にしていることです。



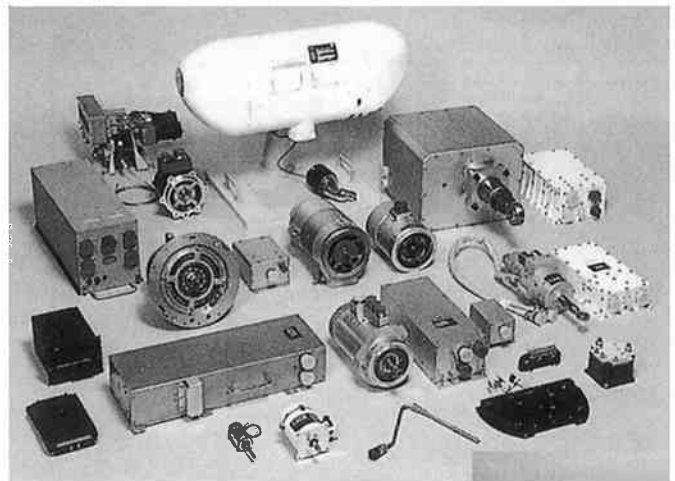
伊勢工場

～製作所長さん、ご自身の趣味又は休日の過ごし方はいかがですか～

ゴルフ歴は浅く、50歳になってから始めましたので、休日は練習場かゴルフ場が多いです。当県はゴルフ場も多く、手頃なことから、本社の人からは羨ましく思われています。ゴルフを始める前は海釣りをしていましたが、両立できず、仲間との交流、健康上からもゴルフをして楽しく過ごしています。

～経営者協会へのご意見、ご要望がありましたらお聞かせください～

当県の北勢地域は企業数も多くまた中部圏に近いこともあり活況を呈していますが、南勢地区への活性化支援をお願いしたい。特にコンプライアンス、内部統制、情報セキュリティ、環境問題など複雑化する企業運営等について企業間協力、交流が必要ですので、そのパイプ役になっていただきたいことと、企業経営の重要課題の一つであります人材育成や労務政策についても積極的な支援をいただきたい。



各種航空宇宙機用電装品

～最後に今後の抱負について考えておられることをお聞かせください～

工場のリスク管理の強化としまして、工場の耐震補強工事や2008年完成予定の新総合ビル建設を実施中です。新製品では自動車産業関連商品（クラッチや制振用アクチュエータ）の成長と伊勢発の小形風力発電装置「そよ風くん」の世界展開を図り、今後の拡大に大きな期待をかけているところです。

◆インタビューを終えて◆

今回は、副会長会社「神鋼電機(株)伊勢製作所」の加藤製作所長さんにご協力を頂きました。所長さんは地元の共同研究のメンバーとして在籍のまま三重大学大学院に入られ、2年間の努力とその功績が認められ工学博士の称号をお持ちです。この2年間は休む間もなく大変きついものでしたと語られたことが今後、神鋼電機さんが躍進を続ける大きな原動力になるものと確信させられました。(事務局)

◆加藤製作所長経歴

昭和28年1月生

学歴

- 昭和50年3月 関西大学工学部卒業
- 平成11年3月 三重大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)

職歴

- 昭和50年4月 神鋼電機株式会社 入社
- 平成13年8月 開発本部研究部長
- 平成14年7月 開発本部長
- 平成16年6月 取締役プリンタシステム本部副本部長
- 平成17年6月 取締役クラッチ、サーボ本部副本部長
- 平成18年6月 伊勢製作所所長

2006・10月8日(日)～14日(土) アメリカ東海岸・カナダ労働経済事情視察報告

■労働経済事情視察の経緯と目的(参加者18名と添乗員)

海外労働経済事情視察は当協会の事業として、2年毎に開催し今後の企業経営に役立てていただくことを目的に、今回は第8回目を迎えることになりました。訪問先は世界経済の要でありますアメリカ(ニューヨーク)と日本企業の進出が多いカナダにおけます社会と労働経済情勢について研修を深めることでした。

月・日	曜日	都市名	交通機関	行程表
10月8日	日	名古屋	NW-72 NW920 専用バス	中部国際空港国際線ロビー集合(AM11:00) 空路、デトロイト乗換え、ニューヨークへ 到着 入国審査 ホテルへ
10月9日	月	ニューヨーク	専用バス	ニューヨーク市内研修視察 エンパイアステートビル、国連本部、ブロードウェイ、自由の女神
10月10日	火	ニューヨーク	専用バス CO571	ニューヨーク市内研修視察 ■ジェトロ・ニューヨーク研修視察 空路、デトロイト乗換えトロントへ
10月11日	水	トロント	専用バス	■トロント郊外日系企業研修視察 デンソー・カナダ・ゲルフ工場 トロント市内研修視察
10月12日	木	トロント	専用バス	ナイアガラフォース研修視察 ■ナイアガラの滝、ナイアガラ オンザレイク、ワイナリー
10月13日	金	トロント	NW-1505 NW071	空路、デトロイト乗換え帰国 デトロイトから名古屋
10月14日	土	名古屋	NW071	セントレア到着、解散18:00



ジェトロ・ニューヨーク研修



アメリカのシンボル「自由の女神」



デンソー・カナダ 日本企業視察研修



トロント市街研修

平成18年10月8日中部国際空港より奥田団長他18名で出発した。

テロ対策の強化で米国入国の審査は大変厳しく、指紋、写真の他、鍵を掛けることを禁止されたスーツケースが知らない間に開けられ中を調べられるなど、米国の緊張振りを直接、肌で感じたことです。

カナダでは天候が急変し、強い雨風と日本の真冬なみの寒さに見舞われましたが、ハードスケジュールも順調にこなすことができました。

米国では「ジェトロ」N.Y.支店を訪問し、アメリカ経済の現況、注目の住宅産業が国内経済に与える影響など、世界の経済の中心であるN.Y.で生の情報を茂呂所長、梶田次長から伺うことができました。又、カナダでは、「デンソー・マニファクチャリング・カナダ・ゲルフ工場」を訪問し、長尾社長をはじめ日本人スタッフの温かいおもてなしをいただきました。1972年会社設立以来、多民族の現地で地域社会に適合した経営、とりわけ、従業員とのコミュニケーションを十分にはかり、生産増強、品質の向上など、キメ細かいユーザーへの対応がされており、有力企業として発展されている姿は、海外事業展開のお手本そのものを感じることが出来ました。

N.Y.で偶然乗ったタクシーの運転手が流暢な日本語で「どちらまで」と言ったので、驚いて話しをすると昨年まで四日市市で働いていたとのことで、車中は三重県の話で盛り上がり、世界はつくづく狭いと感じたことです。

数々の出会い、驚きと素晴らしいメンバーに恵まれた海外研修でした。

協会事業活動……写真でみる3ヶ月(10月～12月)



◆10月3日(火) 三重県産業安全衛生大会 会長来賓祝辞



◆11月16日(木) 年末調整実務セミナー



◆10月5日(木) 経営シンポジウム中部2006



◆11月27日(月) 労管例会・セミナー



◆10月19日(木) 新任人事・労務管理者養成講座(ベルセ島崎)



◆12月5日(火) 第56回労管コンペ(松阪C.C.)



◆10月27日(金) 連合三重第18回定期大会における会長挨拶



◆12月7日(木) みえ雇用創出会議(四日市じばさん三重シンポジウム)



◆11月1日(水) 第9回経協コンペ(三重C.C.)



◆12月14日(木) みえ雇用創出会議(伊勢市いせトピアシンポジウム)

2007

三重県経営者協会



会 長	奥 田 卓 廣
副 会 長	菊 川 靖 之
副 会 長	久 保 幸 夫
副 会 長	戸 澤 周 純
副 会 長	小 林 長 久
副 会 長	高 崎 征 輝
副 会 長	黒 川 正 機
専 務 理 事	平 松 敏

(50音順)

<p>アミカン株式会社 東洋工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 伊 藤 勘 作</p>	<p>三菱化学グループ MINET 明日を創る人材育成会社</p> <p>株式会社 エムネット 四日市研修センター 社 長 矢 島 徹 穂</p>
<p>高機能織物で社会に貢献しています</p> <p>株式会社 イセオリ</p> <p>代表取締役 水 谷 信 博</p>	<p>CS(顧客満足)の向上と人材育成</p> <p>有限会社 エム・アール・シー</p> <p>代表取締役 足 坂 三 長 取 締 役 井ノ口 美津子</p>
<p>ISMS国際認証工場</p> <p>株式会社 伊勢出版</p> <p>代表取締役 玉 井 信 吾</p>	<p>おぼろタオル株式会社</p> <p>代表取締役会長 吉 川 晴 代表取締役社長 加 藤 勘 次</p>
<p>人を取り巻く全ての予防衛生を支援します</p> <p>株式会社 イムテス</p> <p>代表取締役社長 小 林 眞一郎</p>	<p>有限会社 オーピーエス</p> <p>岡島パソコンスクール</p> <p>代表取締役 岡 島 久美子</p>
<p>上野キヤノンマテリアル株式会社</p> <p>代表取締役社長 黒 岩 仲 春</p>	<p>株式会社 菊川鉄工所</p> <p>代表取締役会長 菊 川 靖 之</p>



 <p>ふれあい・たいせつに きゅうどう</p> <p>代表取締役 清水 秀隆</p>	<p>三交旅行株式会社</p> <p>取締役社長 藪田 虔悟</p>
 <p>農業屋 クラギ株式会社</p> <p>代表取締役社長 竹内 秀樹</p>	<p>三交興業株式会社</p> <p>名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン</p> <p>取締役社長 山中 義臣</p>
<p>季節をかえて訪れるたびに新しい感動に出会う</p>  <p>御在所 GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ</p> <p>取締役社長 池田 信政</p>	<p>SAFETY DRIVE SHIMA 志摩自動車学校 民間車検・トータルカーサービス 志摩自動車整備工場</p> <p>代表取締役 小堀 清生</p>
<p>超硬及びハイス工具研削専用機(設計・製作) —当社は専用工作機械及び金型部品のメーカーです—</p> <p>株式会社 小林機械製作所</p>	<p>新生サポート株式会社</p> <p>代表取締役 清本 健一郎</p>
<p>株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校</p> <p>取締役社長 横山 等</p>	<p>神鋼電機株式会社伊勢製作所</p> <p>取締役製作所長 加藤 一路</p>
<p>まかせて安心プロの車検 三交自動車サービス株式会社</p> <p>取締役社長 森川 正治</p>	<p>セキュリティーコスト削減 お任せください (株)セフティージャパン</p> <p>代表取締役社長 加藤 智</p>
<p>株式会社 三交タクシー中部</p> <p>代表取締役社長 河原田 勉</p>	<p>株式会社 ZTV</p> <p>取締役社長 田中 進</p>
<p>三交不動産株式会社</p> <p>取締役社長 柳生 利勝</p>	<p>株式会社 中部近鉄百貨店</p> <p>取締役社長 西川 邦夫</p>



<p>東邦ガス株式会社</p> <p>執行役員(三重駐在) 黒川 正 機</p>	<p>三重交通商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 南 正 就</p>
<p>湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル</p> <p>代表取締役社長 藤 井 俊 彰</p>	<p>地域に根ざし世界に誇れる 国立大学法人 三重大学</p> <p>学 長 豊 田 長 康</p>
<p>株式会社 トーエネック三重支店</p> <p>執行役員支店長 岡 本 章</p>	<p>三重いすゞ自動車株式会社</p> <p>取締役社長 種 戸 茂 一</p>
<p>株式会社 トーカイマネジメント アソシエイツ</p> <p>代表取締役 吉 井 清 二</p>	<p>能力検定の実施 三重県職業能力開発協会</p> <p>会 長 森 十 九 男</p>
<p>日本トランスシティ株式会社</p> <p>代表取締役社長 小 林 長 久</p>	<p>世界のロックメーカー ISO9001認証取得 ISO14001認証取得</p> <p> MIWA 美和ロック株式会社</p>
<p>廣瀬精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 廣 瀬 壽</p>	<p>株式会社 安 永</p> <p>代表取締役社長 高 崎 征 輝</p>
<p>株式会社 三重カンツリークラブ</p> <p>取締役社長 西 山 武</p>	<p>消防防火で安全安心を創る 株式会社 山 口 商 会</p> <p>代表取締役社長 山 口 久 彦</p>
<p>三重交通株式会社</p> <p>取締役社長 奥 田 卓 廣</p>	<p>三重県経営者協会</p> <p>職 員 一 同</p>